

月刊住職

Vol.553

口説伝道には当然、限界がある。が、
信心のありかを伝えるには言葉は
欠かせない。それだけにその方法
や語材をご住職は日々求めてお
られるだろう。その一助にと、
この法話特集をお届けしたい。

住職の研鑽
教化のための

法話特集

- 目次
- 人生よかったカルタ：① ②
 - お母さんありがとう・篠原鋭一
 - 黒澤明『羅生門』再見・亀井鏡
 - ④ お笑い仏教寄席・露の団姫
 - ⑤ 住職のためのキーワード・稲垣真澄
 - ⑧ 法語伝道聖句三昧・渡邊照敬
 - ⑩ いまどきマンガ説法・佐々木正祥
 - ⑪ すぐ使える法話セミナー・村越英裕

お説教のタネグッズ

自宅に在る時間が増えるにつれゲーム業界はうなぎ登りのようだ。ネットゲームではオンライン版も登場、一方、古くからあるボードゲームも品薄。無論ゲームの定番かるたにも関心が高まる。そこで仏教関係のかるたを探したら、現在入手できそうなのが、萩市仏教会オリジナルの『仏教かるた』（萩市仏教文化研究会）、『たのしくまなべる禅かるた』（曹洞宗宗務庁）、『真宗かるた』（北國新聞社）、『蓮如さんかるた』（本願寺文化興隆財団）、『日蓮聖人かるた』（浄風会）、花園大出版『禅語カルターだるま』（芸臺幡）など。絶版ないし品切れが京都仏教幼稚園協会の『おしゃかさまかるた』

『仏教保育かるた』で、ほかにも『阿弥陀かるた』、『道歌百人一首（お坊さんの百人一首）』、『法然上人をめぐるお歌四十八首かるた』など。なお、『いろはかるた』も仏教的ではある。さて、前置きが長くなったが、今回、紹介するのは、かるたとはいえ、勝負事ではない『人生よかったカルタ』（天人用、税込み配送料込み二六八〇円）だ。小学校の道徳の間にも採用されマスコミでも話題になっている。版元は人材育成会社の『株式会社H1R OWA』（東京都渋谷区）、考案したのは同社の代表、和田裕美さんだ。『世界No.2セー

嫌な目に遭っててもかえって明るくなるゲーム

ルスウーマンの「売れる営業」に変わる本のベストセラーで知られる営業コンサルタント。その和田さんが勧めるのが悪いことをよかつたことに変える「陽転思考」。それをかるとにしたのが『人生よかったカルタ』だ。形式は普通のかかるたで、読み札（五十枚）と絵札があるが、そのどちらも、ネガティブな絵やいやな言葉ばかり。たとえば読み札には『あ・挨拶したのに無視されて』『い・忙しい毎日』『う・うそをつかれて』『え・延々と愚痴を聞かされて』とあるけれど、それらの末尾には必ず『よかつた』がついている。つまり『挨拶したのに無視されてよかつた』という訳で、この読み札の絵札を取った人は「なぜよかつたのか」を思い思い話す役目になる。いわば『よかつた探し』ゲームだ。一例、『負けて』よかつたのは『また頑張れるから』とか『仲間はずれになって』よかつたのは『ひとりぼっちの人の気持ちがあつたから』とか『冷たい態度をとられて』よかつたのは『人には優しくしようと思えたから』といった具合。人生にはネガティブなことの方が多い。それをプラスに好転させるといのが学校でも受けているのだろう。同カルタには、こども版やおじさん版もある。仏教版ならどうなるかしら。